

1 つぎの おはなしを よんで もんだいに こたえましょう。

アリはとても小さな虫ですが、くらしはとてもきちんとしています。

アリの体は、あたま・むね・おなかの三つに分かれています。

あたまには目や口があり、二本の触角（しよっかく）でにおいをかぎ分けます。

むねには六本のあしがついていて、アリはそれをつかってすばやく歩きます。

アリは地めんの下に大きな巣（す）をつくります。その巣には、たまごをそだてる「へや」や、えさをためる「へや」があります。

はたらきアリは、外へ出てえさをさがし、見つけると口でくわえたり、なかまにわけたりします。

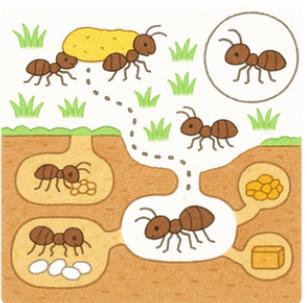
なかまにしらせるときには、地めんにおいをつけながら歩きます。

そのにおいのすじをたどると、ほかのアリもえさのところまでたどりつけるのです。

アリはみんな力を合わせてはたらきます。

一ぴきのアリがえさをほこぶのはむずかしいけれど、何ぴきもあつまってがんばれば、大きなパンくずでもじょうずにうごかせます。

アリは小さくても、なかまをたいせつにしてくらす、すごい虫なのです。



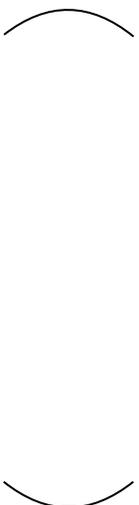
(1) ほんぶんでは、アリの体は、どの三つに分かれると言っていますか。次から1つえらびすうじをまるでかこみましょう。

- ① あたま・むね・あし
- ② あたま・むね・かお
- ③ あたま・むね・おなか

(2) ぶんの（ ）にあうことばをかきましよう。

アリは、地めん（ ）につけながら歩いて、なかまにしらせます。

(3) 小さなアリでも大きなパンくずを動かせるのはなぜですか。そのりゆうを、20字以内でかきましよう。



(4) つぎのぶんがおはなしとおなじないようなら○、ちがうなら×を（ ）にかきましよう。

- () むねには六本のあしがついている。
- () むねには六本のあしがついていない。
- () 巣にはえさをためる「へや」はない。
- () はたらきアリは、外へ出てえさをさがす。

1 つぎの おはなしを よんで もんだいに こたえましょう。

アリはとても小さな虫ですが、くらしはとてもきちんとしています。

アリの体は、あたま・むね・おなかの三つに分かれています。

あたまには目や口があり、二本の触角（しよっかく）でにおいをかぎ分けます。

むねには六本のあしがついていて、アリはそれをつかってすばやく歩きます。

アリは地めんの下に大きな巣（す）をつくります。その巣には、たまごをそだてる「へや」や、えさをためる「へや」があります。

はたらきアリは、外へ出てえさをさがし、見つけると口でくわえたり、なかまにわけたりします。

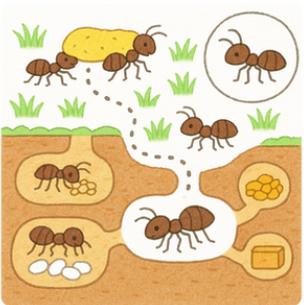
なかまにしらせるときには、地めんにおいをつけながら歩きます。

そのにおいのすじをたどると、ほかのアリもえさのところまでたどりつけるのです。

アリはみんなで力を合わせてはたらきます。

一ぴきのアリがえさをほごぶのはむずかしいけれど、何ぴきもあつまってがんばれば、大きなパンくずでもじょうずにうごかせます。

アリは小さくても、なかまをたいせつにしてくらす、すごい虫なのです。



(1) ほんぶんでは、アリの体は、どの三つに分かれると言ってますか。次から1つえらびすうじをまるでかこみましょう。

- ① あたま・むね・あし
- ② あたま・むね・かお
- ③ あたま・むね・おなか

(2) ぶんの（ ）にあうことばをかきましよう。

アリは、地めん（ ）におい（ ）をつけながら歩いて、なかまにしらせます。

(3) 小さなアリでも大きなパンくずを動かせるのはなぜですか。そのりゆうを、20字以内でかきましよう。

解答例) みんなで力を合わせてがんばるから

(4) つぎのぶんがおはなしとおなじないようなら○、ちがうなら×を（ ）にかきましよう。

- (○) むねには六本のあしがついている。
- (×) 巣にはえさをためる「へや」はない。
- (○) はたらきアリは、外へ出てえさをさがす。